

姉妹・友好都市

SISTER CITIES NEWS

ニュース

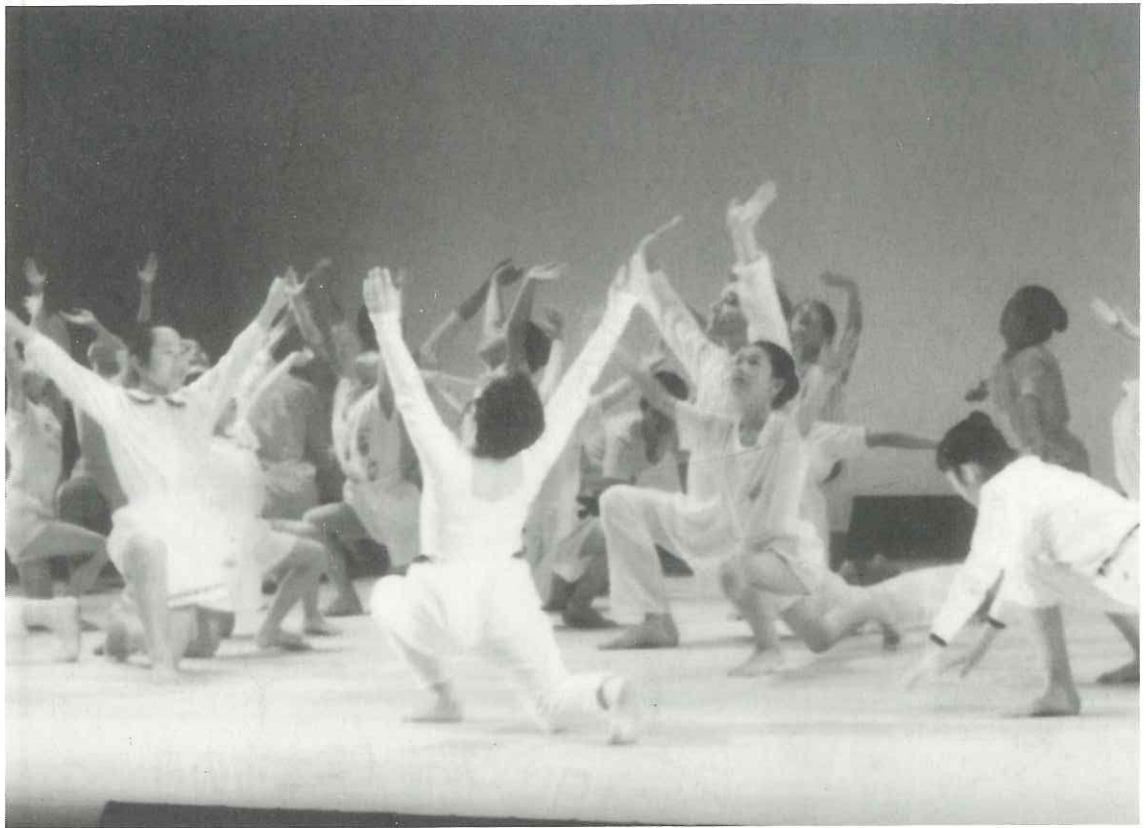
協会報

第 14 号

平成2年5月19日発行

編集・発行

茨木市国際親善都市協会



茨木市の少女達が共演したナンシー・ハウザー・ダンス劇団公演

目次

- 姉妹・友好都市提携ミ市10周年・安慶5周年の事業あれこれ…………… P 2・P 3
- 7月31日は花博「茨木市の日」〈姉妹都市から友情出演〉…………… P 2・P 3
- 第6回英語スピーチ大会…………… P 3
- ナンシー・ハウザー・ダンス劇団が公演…………… P 4
- <小豆島> 内海町に「市民海の家」開設間近…………… P 6・P 7
- 国際交流の足あと、会員募集、寄付紹介…………… P 8

ミ市10周年
安慶5周年

の交流事業あれこれ

1980年10月22日に、アメリカ合衆国ミネソタ州ミネアポリス市と姉妹都市、1985年10月5日に、中華人民共和国安徽省安慶市と友好都市の盟約を結んで以来、今年でそれぞれ10周年、5周年を迎えます。

本協会と茨木市では、この記念すべき年を会員や市民の皆様と祝い、21世紀をめざした新しい国際交流活動の出発点とするため、記念・交流事業を計画しています。

協会では、周年記念事業として、7月に来茨する「大双子都市ユースシンフォニーズ」の公演を計画し、市では、茨木フェスティバル・花博「茨木市の日」への「ミ市音楽グループ」の出演、「ミ市・安慶市代表者」の花博への招聘、「安慶市書画展」の開催、ミネアポリス・安慶両市へ「日本図書の贈呈」・「記念誌」の発行を予定しています。

☆ミネアポリス市から「大双子都市ユースシンフォニーズ」の来茨……7月

ミネアポリス市とその双子都市であるセントポール



スポーツ、書画展等で
友好の足あと祝う

市を中心に集まったユースオーケストラの団員約70人の高校生とその父兄・関係者が来茨し、10日、市民会館〈ユーアイホール〉大ホールで公演を行います。

☆「安慶市書画展」の開催……8月

昭和62年の書画展が再現されます。あわせて中国切手展も開催の予定です。

☆ミネアポリス市・安慶市へ「日本図書」を贈呈……秋



昨年の少女合唱団公演

最近いよいよ日本文化や日本語に関心を持つ人々が増えてきていますが、日本語学習の一助として、また、日本文化に対する理解を深めてもらう資料としてミネアポリス市・安慶市へ日本図書を贈ります。

7月31日は

花博「茨木市の日」

※※※※※※※※※※※※※※※※

姉妹都市から友情出演

大阪・鶴見緑地において4月から開催されている「国際花と緑の博覧会」大阪府パビリオン「いちよう館」内の『すきやねんプラザ』では、府と友好関係にあるオーストラリア・クィーンズランド州や中国・江蘇省など海外7自治体、府内43の市町村、105の府民団体が連日バラエティー豊かなイベントや展示を行います。そのうち、7月31日が「国際交流都市



花博すきやねんプラザの水上ステージ

☆「記念誌」の発行

ミネアポリス市と10年間の、安慶市と5年間の交流を振り返ります。

この他の交流事業として以下のものがあります。

★ミネアポリス市へ「少年サッカーチーム」の派遣…7月

アメリカで最大の国際青少年サッカー大会であるUSA杯へ、20か国7,500人の若者達に交じり茨木から37人の中学生が参加します。

★ミネアポリス市「少年野球チーム」の来茨…7月

今年で5回目の来茨となる「ミネソタ・リトル・ゴファーズ」が26日に到着し、10日間にわたる親善試合や各種スポーツ交流、ホームステイを行い、日米の少年どうしの友情を培います。

★安慶市へ「農業指導者」の派遣……11月

市内の農業関係者がボランティアで安慶市へ農業の指導に出かけます。

★安慶市へ「スポーツ訪中団」の派遣……3月

中学生・大人の卓球・水泳選手などからなるスポーツ訪問団が安慶市を訪問し、親善試合を行い、日中のスポーツマンどうしで互いにエールを交換します。



—昨年訪問したミ市少年野球チーム

—茨木”のテーマで茨木市にあてられています。

「茨木市の日」では、テーマにふさわしく、姉妹・友好都市からの出演・出展がありますが、この楽しい一日に出演する主なグループをご紹介します。
○ミネアポリス市からブルーグラスの音楽グループ「ポップ・ワグナーとストーニー・ロンサム」が出演します。ポップ・ワグナーは投げ縄の芸も披露してくれます。

○国内姉妹都市の「内海町町民」による祭「福田のしし」と「轢差し」が披露されます。

○花・緑・自然・季節などをテーマにした曲が、



審査委員長ボスマン先生の講評

第6回「英語スピーチ大会」
優勝は奥川さん(中)と柴田さん(高)

“21世紀を担う青少年に国際感覚を身につけてもらおう”と始めた本協会主催の「英語スピーチ大会」は昨年11月3日(文化の日)、茨木市福祉文化会館(オークシアター)文化ホールで開催され、会場を埋めた約300人の聴衆を前に中学生17人、高校生10人が熱弁をふるいました。入賞された皆さんは次のとおりです。(敬称略。学年は当時)

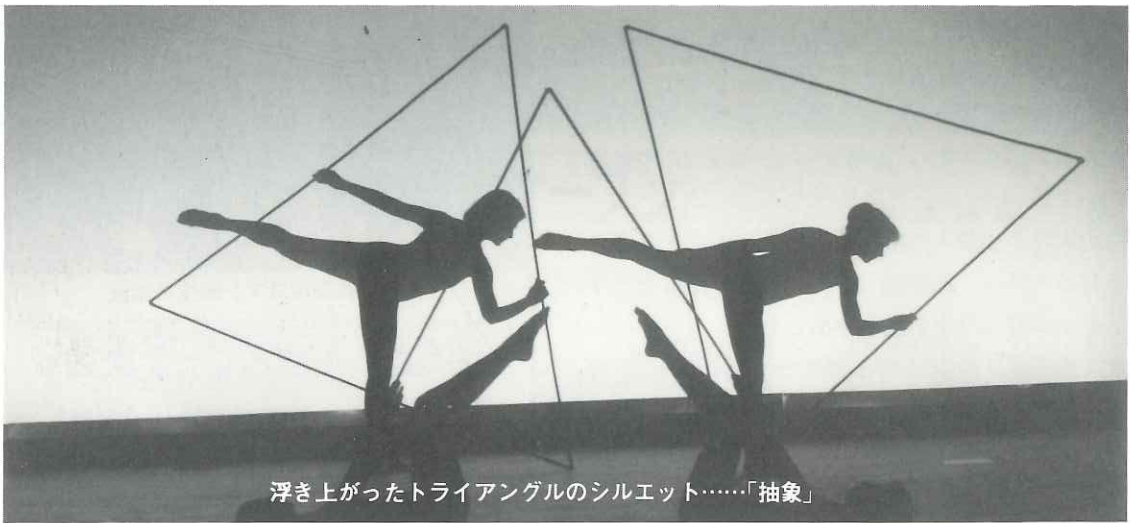
〔中学生の部〕〈1位〉奥川千恵子(天王中学校3年)〈2位〉二宮麻衣子(平田中学校3年)〈3位〉山田真由美(梅花中学校3年)〈ジャパントイズ賞〉小野寺淳史(摂陵中学校3年)

〔高校生の部〕〈1位〉柴田裕子(同志社女子高校3年)〈2位〉上野山順也(春日丘高校2年)〈3位〉波止周子(茨木高校2年)〈ジャパントイズ賞〉杉田健(福井高校1年)

「春日丘高校音楽部」・「市児童合唱団」・「コーラス青い鳥」・「中津ドルチェコール」などの『市合唱連盟』によって歌い上げられます。

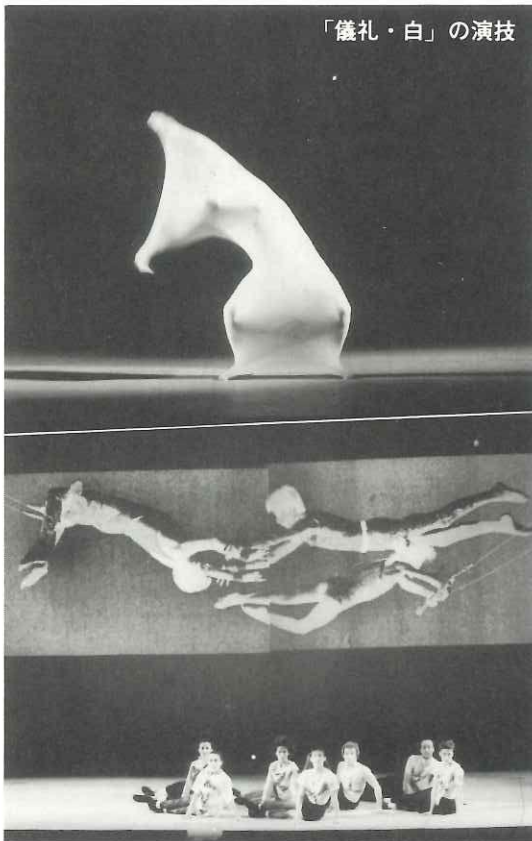
○ショー構成で、梅花女子大学から参加の「ジャズダンス」、茨木西高校の「バトントワリング」、追手門学院大学の「マーチングバンド」の出演・演奏があります。

○梅花女子大学の「箏曲演奏」や「フォークソング」、追手門学院大学の「アメリカ民謡」の演奏があります。



浮き上がったトライアングルのシルエット……「抽象」

ナンシー・ハウザー・ダンス劇団が公演 幻想的な踊りで訪れた市民を魅了



「儀礼・白」の演技

スライドを用いた「断片」の1コマ

アメリカ中西部のモダンダンス界の中心的な存在である「ナンシー・ハウザー・ダンス劇団」が4月、本市を訪れ、市民総合センター（クリエイトセンター）センターホールにおいて公演しました。

名誉団長として元アメリカ合衆国副大統領夫人ジョウン・モンデールさんが同行した訪問団は4月9日、大阪国際空港に到着、その夜からホームステイに入り、10日と11日午後のリハーサル・舞台準備をこなし、11日夕方の公演では、創始者ナンシー・ハウザー女史の霊に捧げた「イメージ」など7つの作品を茨木市民に披露しました。

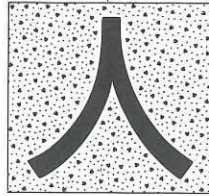
7つの作品のうち、4つがナンシー・ハウザー女史の振付けになるもので、モダンダンスの多様な表現方法を用いて空間での純粹な形についての実験や変化の止まない躍動感溢れるものなどを表わし、女史の娘さんで美術監督のハイジ・ジャスミンさんを筆頭に、団員達はそれぞれ特徴的なダンスを見せてくれました。

また「嵐のダンス」では、茨木バレエ研究会の少女達が共演し、最後の舞台が終わると劇団員達に花束を贈り、観衆の皆さんから盛んな拍手を浴びました。

アリス・サンドホルトさん

“虹の橋作ったことありますか”

本号では、3年半にわたり青少年活動室の“Let's have fun with English”の時間を受け持ち、楽しい英語を教えて下さったアリス・サンドホルトさんをご紹介します。



サンドホルトさんは、アメリカ・モンタナ州のご出身で、現在、教会牧師のご主人、子供さん2人と春日一丁目にお住まいです。いろんな人と話すことが好きなかたで、今回「青少年活動室」での思い出を寄せて下さいました。

「ミセス・サンドホルト、虹の色いくつ見えませんか」と茶色の目の生徒は青い目の私に質問して考えさせました。「虹には七つの色があるのに青い目の人は六つしか見えないそうですが、本当ですか。実は分からない！全然気が付かなかった。今度見るとき必ず調べてみます」と約束しました。これは最近の 青少年活動室 の話です。茨木市で温かい歓迎をいただいて、お返しのため昭和



青少年活動室で談笑するサンドホルトさん

62年から手伝ってきました。

私の学校のモットー“Learn By Doing”を思い出し、簡単な会話・ゲームなどを通して英語を教えました。色々な国からの人と話すとだんだん生徒達は試験のため以外の英語もあると分かってきます。そして、こんな英語は様々な大陸や文化への橋になります。

アイルランドには「もし虹の正確な終わりまで行って穴を掘ると金の硬貨が見つかる」という古い伝説があります。一人ひとり自分の虹を持っているし、自分の文化はその虹の色のひとつです。違う言語、文学、美術などを経験すると虹の色が殖える。いかがですか。虹の橋を作ったことがありますか。財宝があるゾー。

青少年活動室

青少年活動室では、国際交流の底辺を広げるため、中・高校生が気軽に参加して、外国人ゲストと話したり、歌ったり、ゲームをしたり、楽しみながら英語に親しむ、学校の授業とは一味違った英語のサロンを開いています。

<例会>

原則として第4日曜日午後2時から福祉文化会館（オークシアター）で

<会費>

無料

参加してみませんか

姉妹都市活動室

姉妹都市活動室では、英語力および国際感覚向上のため、月2回、福祉文化会館（オークシアター）内で、外国人ゲストを迎えて、講演会や研究会などを英語でおこなっています。

<例会>

木曜会 第1木曜日午前10時

土曜会 第3土曜日午後2時

<会費（年額）>

正会員 2,000円（18歳以上）

準会員 1,000円（中・高校生）

小豆島・内海町に「市民海の家」

市民対象に7月オープン



オリーブビーチ海水浴場

海外の姉妹都市交流に加えて、現在、地域振興策として、国内での都市間交流も活発です。

本市でも市民各層の間から、より自然を求める声―特に海のある地方との交流を行い、市民の活動の場を広げてほしいとの要望に応じて、昭和63年10月、市制施行40周年記念事業として小豆島「内海町」と姉妹都市提携をしています。

小豆島は瀬戸内式の温暖な気候に属し、昔から、88カ所霊場などで賑わい、また、我が国唯一のオリーブの原産地として、オリーブ王国やオリーブ公園などオリーブにちなんだ名所も多く作られています。

本市では、市民の皆様に恵まれた自然環境に親しむ場を提供し、健康と福祉の増進に役立ててもらうため、美しい溪谷と海浜をもつ内海町に「茨木市市民海の家」を7月1日オープンします。

「海の家」は、目の前に、きれいに整備された「オリーブビーチ海水浴場」が広がり、背後には、オリーブの香りが漂う「オリーブ公園」、すぐ横



には、島の生活を伝える「小豆島民俗資料館」など、豊かな自然と観光資源に囲まれています。

また、内海湾をはさんだ対岸には、「二十四の瞳岬の分教場」と「映画村」、山を登れば、新緑と紅葉の「寒霞溪」など、四季を通じて楽しめる観光地でいっぱいです。

海水浴や観光の拠点として、宿泊に、また、日帰りの休憩に、ぜひご利用下さい。



ウインドサーフィン大会 (オリーブビーチ)

施設案内

- ◇部屋 客室 6室 (6畳×5室、12畳×1室)
- 大広間 1室 (20畳)
- 食堂 1室、台所 1室
- その他 浴室1、洗面所2
- ◇宿泊人数 定員40人
- ◇付属施設 机敷6区画 (2畳×6区画) シャワー室
- ◇その他 冷暖房完備

料金表

区 分		料金	利用時間
宿 泊	1人1泊	大人(高校生以上)	2,000円
		小人(小・中学生)	1,500円
		幼児(小学生未満)	無 料
休 息	1日1回	机敷(1区画)	1,000円
		客室(1室)	1,000円

※食事は別料金。事前に予約が必要です。

※12月29日～翌年1月3日は休業です。

★車利用の場合

- 茨木—福崎—姫路港 ^{フェリー}—福田港—海の家 (約4時間)
- 茨木—神戸中突堤 ^{フェリー}—坂手港—海の家 (約4時間)

★客船利用の場合

- 茨木—大阪天保山 ^{ジェットライン}—坂手港 ^{バス}—海の家 (約3時間)
- 茨木—神戸中突堤—客船—坂手港 ^{バス}—海の家 (約4時間半)
- 茨木—^{新幹線}—姫路港 ^{フェリー}—福田港 ^{バス}—海の家 (約4時間)



岬の分教場で記念写真

市民訪問団一行
内海町の秋を満喫

昨年11月、茨木市市民訪問団一行43人が、秋晴れに恵まれた内海町を訪れました。

一行は旅の疲れも内海町職員の方々の温かい出迎えて癒され、内海町役場での表敬訪問では、

オリーブの苗木を記念にいただきました。

その後、「マルキン醤油記念館」「二十四の瞳の舞台となった岬の分教場・映画村」「秋の紅葉が深まる寒霞溪」「民俗資料館」「オリーブ公園」を訪問することができました。

訪問する先々で手厚く迎えていただき、今後さらに広がる市民交流の第一歩を踏み出した訪問となりました。

内海町との交流(第13号以降)

区分	時 期	団 体 名	参加人員	目 的
訪問	10.24 ～10.25	茨木市 社会福祉協議会	33人	視察
〃	11.6 ～11.7	茨木市 国際親善都市協会	43人	姉妹都市交流
〃	11.13 ～11.14	茨木市 地域婦人団体協議会	102人	研修
受入	11.18 ～11.19	内海町		茨木市農業祭 参加

茨木市における国際交流の足あと

— 第13号以降の経過 —

(1989年)

- 1.10 「姉妹・友好都市ニュース」第13号発行
- 10 市議会を中心とする「市友好訪中代表団」9人安慶市訪問
- 10 「ビジテーション教会訪問団」一行14人来茨
- 11 「第6回英語スピーチ大会」開催
- 11 「市民訪問団」一行43人内海町訪問
- 11 ミネソタ州国際語学村ディレクターのO・ピョルクネス氏夫妻、
コーディネイターのA・トラセス氏夫妻来茨
- 12 「安慶綿紡廠タオル調査ミッション」一行5人来茨

(1990年)

- 2.1 協会顧問・大阪府議会議員加藤法瑛氏ミネアポリス市訪問
 - 1 ミネアポリス市コーディネイターのL・シュワルツコプフ氏夫妻来茨
 - 1 ミネアポリス市少年野球チーム監督G・ダウニング氏来茨。7月の少年野球交流について打合せ
 - 3 ミネアポリス市議会議員J・ニーミック夫人ほか2人来茨
 - 4 ミネアポリス市文化協会役員G・エリクソンさんほか2人来茨。姉妹都市活動室会員宅にてホームステイ
 - 4 「ナンシー・ハウザー・ダンス劇団訪問団」一行10人来茨
 - 4 安慶市書画院の房学朋氏、劉雲氏来茨。「二人展」開催



キリシタン遺物史料館を訪れた
ビジテーション教会訪問団



市民総合センター前のタオル
調査ミッション一行



成人式に出席したミ市コー
ディネイター夫妻



協会会員を募集

本協会では、姉妹・友好都市交流をはじめ、国際親善に熱意を持っておられる方々の入会を心からお待ちしています。

会員には、年2回発行しています協会報などによる本市国際交流活動情報の提供、会の催す姉妹・友好都市との交流行事・ゴルフコンペ等へのご案内をいたします。

<会費(年額)>

個人会員(一般)	2,000円
(学生)	1,000円
団体・法人会員	一口 5,000円

<申込先>

協会事務局 (市役所3階 自治推進課 国際交流係
電話22-8121 内線2143)

寄付

本市の国際交流事業の推進のためにと、次の方々から温かい

ご寄付をいただきました。ご好意に心からお礼申し上げます。(10月～5月、敬称略)

<市へ> 12月 阪急茨木市駅前市街地改造ビル管理株式会社 (20万円)

5月 リサイクル協同組合 (100万円)

ホームステイビデオを貸出

(財)大阪府国際交流財団では、ホームステイ・ホームビジットの受入家庭を登録し、花博出演などのため招聘する海外参加グループ等を斡旋していますが、この度、ホームステイの手引きとしてビデオ「私たちの国際交流-ホームステイ」が送られてきましたので、ご希望のかたに貸し出しています。お申込みは協会事務局まで。